



# 第五十五号 (春号)

## 春の全国交通安全運動

【期間】  
令和四年四月六日から四月十五日までの十日間実施されます。

なお、四月十日は交通事故死ゼロを目指す日です。

【スローガン】  
安全をつなげて広げて事

【運動の重点】  
一、子供を始めとする歩行者の安全確保

二、歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

三、自転車の交通ルール遵守



4月10日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です  
**春の全国交通安全運動**  
令和4年4月6日(水)～15日(金)

内閣府

～地域交通安全センター～  
スルガ自動車学校

〒424-0204  
静岡市清水区興津中町5 2 2-1  
フリーダイヤル0120-017-120

### 守の徹底と安全確保

#### 【静岡市の年間テーマ】

自分自身と相手を守る交通ルールとマナーの徹底  
く人も車も自転車もく

新入学・進級おめでとう  
ございます。

コロナ禍の中新しい年が始まりました。

令和三年の静岡県全体の交通事故死者数は減少しましたが、静岡市及び清水区の交通事故死者数は減少の兆しが見えません。交通事故の状況を見るとお互いがルールを守り、ゆとりをもってしっかりと安全確認をしていけば防げたと思われる事故がほとんどです。道路を通行する全ての人が、自分や相手の命、そして自分の社会的立場や責任を意識して悲惨な交通事故を一件でも減らすように努めましょう。中学生、高校生については通学、部活、休日の移動に利用する自転車の事故防止に真剣に取組みましょう。



真剣に取組みましょう。

### 【清水警察署交通課交通安全教育係が推奨】

「しずおか。自転車事故防止3つの柱+1(プラスワン)」について説明します。

1の柱は、「交差点では、周りに気をつけよう！」

交差点を進行する際には、交差点のほかに、自車の前後の安全確認や周囲の車両及び歩行者の動静注意することが大切です。

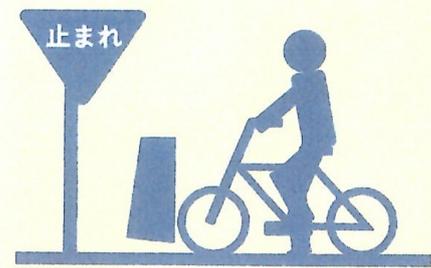


1の柱 交差点では、周りに気をつけよう！

2の柱は、「一時停止場所では、しっかりと停まろう！」

特に、一時停止箇所における一時停止を確実に履行することが大切です。自転車が一時停止の標識のある交差点でしっかりと停止でき交通社会の実現ができれば自転車の死亡事故は激減すると思えます。

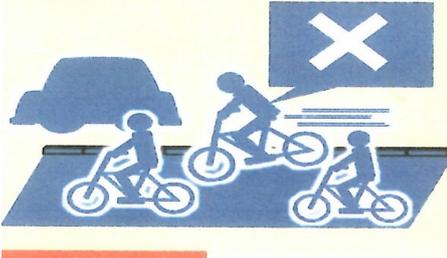
2の柱 一時停止場所では、しっかりと停まろう！



3の柱は、「急がず、ゆっくり走ろう！」

特に、朝の通勤・通学時間帯において、スピードを出して走行する自転車が散見されます。見通しの悪い交差点や歩道上通行時の徐行、坂道等の安全な速度の重要性について認識することが大切です。

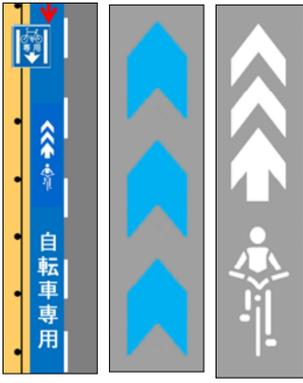
3の柱 急がず、ゆっくり走ろう！



+1(高齢者の方) アシスト自転車の特性(加速・車重)を理解しよう！

＋1（高齢者の方へのプラスワン）アシスト自転車の特性（加速・車重）を理解しよう！ 家庭内でアシスト自転車を利用していただく方は注意をしていただきたいと思ひます。特に、信号機のない交差点では、自転車の安全確認や一時停止が原因となる交通事故が多発しています。高齢者の方は、電動アシスト付き自転車を利用される機会が多いと思ひますが、アシスト機能によりスピードが出やすい、車体が重く普通自転車との操作感覚が異なることを十分に理解した上で安全な利用をお願いします。3つの柱＋1を守って安全で快適な自転車利用をお願いします。

この表示最近よく目にしませんか？



**自転車ナビマーク・自転車ナビラインと自転車専用通行帯**  
道路でよく目にするこのマーク、右から「自転車ナビマーク」「自転車専用道」と「自転車専用道」というものです。自転車が車道を通行するさいの通行位置と進行方向を示します。矢印の向きに従って走行しましょう（逆行はできません）。また、自転車ナビマークと自転車ナビラインには、自転車優先など法令上自転車を保護する意味はありません。自転車ナビマーク・自転車ナビラインがある場所や交差点でも周囲の自動車や歩行者の動きに十分注意して運転しましょう。

**安全確認**

駐車車両を避けるさい、車道から歩道に入るさい、歩道から車道に出るさいには十分に周囲の安全を確認しましょう。車道から歩道に入るときは、歩行者優先を忘れず、歩行者の有無や歩行者との間に安全な間隔を空けられるかを確認した

後に入りましょう。歩道から車道へ入るときは、後方から来る自動車に注意します。自動車は速度も速くすぐに止まることができません。自動車の目の前に出てしまうと追突される可能性がありまます。そのため、後方から来る自動車との間に距離が長くあるかを確認して出るようにしましょう。

自転車の交通事故が最も多いのは中・高校生です。自転車での通学や遊びに行くときなど、乗り慣れてきたことによる油断や注意不足により事故に合うケースも多く発生しています。

また、事故といつても被害者だけでなく加害者になる危険性もあります。相手を死亡又は大けがをさせて高額な賠償金を本人もしくは保護者に請求されるケースもあり、決して本人だけでなく家族全体の問題となることもありまます。

事故の加害者とならないために、周囲の安全確認を徹底して運転する習慣をつめましましょう。

**【海の事故防止・清水海上保安部からのお知らせ】**

春になり、温かくなると海で遊ぶ機会が増えてきまます。静岡市で起きる海の事故のなかで一番多いのが釣り中の事故です。釣りを安全に楽しむためのポイントを説明しまます。注意点を守って楽しみましよう。

海中転落です。服を着たまま泳ぐのはむずかしく、すぐに疲れてしまひまます。おぼれないように、ライフジャケットを着ましよう。

○1人で海に行かない 海に落ちたとき、自分で陸地に戻れないときは助けを呼ばなければなりません。海へは大人と一緒に行きましよう。

○天気 晴れていても、強い風の日には波が高いです。波で地面が濡れるとすべりやすくなりまます。天気が悪い日は海で遊ばないようしましよう。

○ライフジャケット 釣りなどで起きる事故の多くが

親子がクーラーボックスに座って釣り中に、子どもがうたた寝して海に落ちまました。親が子どもを助けようと海に飛び込みまました。陸地に戻れなくなり、近くの人が助けを呼びまました。

小学1, 2, 3年生用

海であそぶときの

# おやくそく

- 1 天気かわる日は海であそばないようにしましよう。
- 2 海にあそびに行くときは大人といっしょにいしましよう。
- 3 水辺であそぶときは、ライフジャケットをきましよう。

保護者・指導者の皆様へ

海上保安庁では、様々なウォータースポーツについて、誰もが安全に安心して楽しむために揃ってほしい情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォータースポーツガイド」を開発してあります。右の2次元コードから、是非アクセスしてください！

JCG 海上保安庁